

土木工学・建築学委員会（第26期・第13回）議事要旨

日時： 令和7年4月2日（水）15:00-17:00

参加者：竹内、佐々木、下田、多々納、田村、大岡（記録）

配布資料：

資料 13-0 議事次第

資料 13-1 土木工学・建築学委員会（第26期・第11回）議事要旨

資料 13-2 構造工学シンポジウムプログラム

資料 13-3 2025年土木工学・建築学委員会_全体会_プログラム ver0

資料 13-4 IRDR 提言概要

資料 13-5 防災減災見解案 20250402

資料 13-6 土木工学・建築学委員会_R6 活動報告 20250401

議事要旨：

（1）第12回議事要旨の確認

- ・前回議事要旨について確認した。

（2）本年度の活動

- ・「第71回構造工学シンポジウム」（令和7年4月12日（土）～13日（日））について説明があった。
- ・全体会（令和7年6月16日）について

沖先生に昨今の学術会議をめぐる状況について情報共有をお願いする（40分）。

新しい学術会議については3月に閣議決定され、5月くらいに法案決定される予定

27期は連携会員について言及はないので、沖先生についてそれを述べてもらう。

連携会員からの意見も集約する。

他の基調講演を短くする（20分）。

防災減災学術連携委員会は協力とする。

懇親会はCEDAR THE CHOP HOUSEを検討する。

全体会開始を13:30とする。

（3）各分科会の意思の表出等に係る活動状況

・IRDR分科会

資料13-4を用いて田村幹事より説明があった。9月頃に発出を考えている。11月頃に国際シンポジウムを開催したい。国内・国外への発信も行う。

・防災減災学術連携委員会

見解として発出する予定。

豪雨災害も含める。

4月中に取りまとめ5月には提出したい。

地域のアイデンティティが担保できることが重要（コミュニティが崩壊してしまっている）を書くべき。

予算の問題も書くべき。

ダイヤモンドサージ（価格高騰）も書くべき。

（4）その他

- ・各分科会の活動報告

- ・ IRDR分科会（田村幹事）
国際フォーラムで発信活動をした。
- ・ 気候変動と国土の未来分科会
報告なし
- ・ WFEO分科会（竹内委員長）
次の代表を誰にするかが課題。
- ・ インフラレジリエンス分科会（多々納委員）
3月21日第5回を開催した。4月15日に分科会開催予定。シンポジウム開催予定。
- ・ 複合災害と人口減少時代の建築・都市・地域分科会
人口減少時代のまちづくりのあり方について議論。全体会の前の午前中にIRDR、インフラレジリエンスと共同開催。
- ・ カーボンニュートラル都市分科会（下田委員）
本日6回目を開催。「カーボンニュートラルに向けたエネルギー供給側と需要側の連携」(検討中)を総合工学委員会エネルギーと科学技術に関する分科会と共催予定。
- ・ 子どもの成育環境分科会
報告なし
- ・ デザインをめぐる知の構築と社会的理解分科会（佐々木副委員長）
6月6日に公開シンポジウムを開催予定。
- ・ 今後の予定
第14回 令和7年6月16日（水）12:00-13:00（対面）
- ・ 全体会の案内
昨年のを参考に作成する。
旅費については昨年の予算を確認する。

以上